



File1

20年後, 30年後の農山村はどうあるべきか

農山村が抱える課題

皆さんは農山村に対してどのようなイメージをもっているでしょうか? 農業や農村をテーマとしたテレビ番組の影響で、明るく豊かなイメージをもつ人も多いのではないのでしょうか。確かに、こうしたイメージも農山村の側面ではあるのですが、一方で農林業の衰退、過疎化・高齢化の進行、公共交通の衰退など様々な課題に直面している現実もあります。私の研究室ではこのような農山村が抱える課題解決の方策や20年後, 30年後の農山村のあるべき姿を示すことを目標に, 社会科学的な視点から研究しています。

今ある資源を活用した農山村の発展方策を考える

農山村には様々な課題があり, 課題や地域特性に応じた適切な解決策や発展の方策を考えなければなりません。例えば, 私の研究室では, 地域に眠る在来品種に着目し, 特産農作物やコミュニ

ティビジネスに活用できないか研究を進めています。在来品種とは, 地域で種子更新を繰り返すうちに特有の形質を有するようになった作物のことです。私が調査した事例では, 強烈な匂いのニンニク, 粒大がとて大きいアズキなどがあり, 個性豊かなものが多いです。在来品種は, かつては全国的に存在していましたが, 代替え品種が開発されると次第に栽培されなくなり, 各地で喪失の危機にあります。このような在来品種に面白さや可能性を感じ, 特産農作物に育てるための研究に取り組んでいます。



薦池大納言は, 京都府伊根町の在来品種。この土地でしか栽培されておらず, 一般的に流通しているアズキよりも粒が大きい。このような地域の固有の資源を発掘し, 特産農作物として活用する手法を構築するための研究をすすめています。

疑問を持つ力, 解決のための道筋を立てる力を養ってほしい

ところで, 私の研究室では地域課題を扱うという性質上, 座学だけでなく実際に地域で何が問題となっているのか, 現場に出て学ぶことを重視しています。研究室の学生も座学と現場での学びを往復しながら, 卒業研究に取り組んでいます。卒業研究で身に付く力は, 社会に対して疑問を持つ力, その疑問を解き明かし, 解決のための道筋をつくる力です。これらは研究だけでなく社会で課題解決に取り組もうとすれば不可欠となる能力です。こうした能力を身に付け私の研究室や環境学部を卒業した学生が, 全国各地で地域づくりに活躍している将来を目指して, 学生達と学んでいきたいと思っています。



環境学部
山口 創 講師

専門 | 農村計画学、
ナレッジマネジメント、
農業経営学

File2

地域の維持存続の基盤となる第一次産業を研究 様々な切り口から現場を調査してください

主に農村地域が研究対象 地域衰退の課題とは

私が専門にしているのは、「地域振興論」「農業経済学」等です。具体的には、いわゆる「地方」と呼ばれる地域の主要産業である農業分野における労働力不足に関する問題や、農業者だけではなく農村居住者にとっても重要なライフラインとなっている農協が地域に果たす役割、地域を活性化させるための農業振興のあり方などについて、フィールドワークを中心とした研究を行っています。

現在、関心を持っているのは、近年、「田園回帰」という言葉が目立され、都会から地方へ移住し、新しく農業を始める人も増えつつありますが、このような農業生産の新たな担い手が地域コミュニティや地域振興にどのような役割を果たしているのか、また、彼らが地域の担い手としても活動していくためにはどのようなサポートが求められているのか、という点です。

様々な角度から物事を見つめることが大切

ゼミについてですが、テーマごとに学生にプレゼンテーションを行ってもらっています。『自分の考えを分かりやすく相手に伝えること』、『相手の考えを的確に理解すること』、『相手の報告内容について自分なりの意見を持つこと』を習得する手助けができればと思います。農業を研究といっても、人を見るのか、経営を見るのか、地域を見るのか、産業を見るのかなど切り口は異なります。世間一般の既存の考

え方や自分自身の固定観念に囚われず、様々な角度やいろいろなやり方で接近し、自分なりの考えや答えを見つけ出せる力を身につけてもらいたいです。

自分一人だけではなく、違う視点も取り入れる

将来も活躍し続けるため必要なことは『現状に満足しないこと』と『自分一人ではできないことには限界があることを知ること』だと思います。実際の現場は予想を覆されることも多く、実践的な知識が磨かれます。自分一人が出した仮定には限界があり、いかに調査相手から聞きたいことを聞き出せるかがプラスになります。その経験を積むためにも、学内に留まらず積極的に飛び出し、様々な価値観を持った人たちとコミュニケーションをとってもらいたいです。そのつながりが今後の財産になるはずです。



経営学部
山口 和宏 講師

専門 | 地域振興論、地域経営論
農業経済

